

## 地域おこし協力隊の現場を訪ねて

奥出雲の「人と自然大好き子」vol.1



6月から定住コーディネーターとして活動しています坪倉麻子（大阪出身）です。今回は私の現場から、11月1日に東京であったUターンフェアでの様子をレポートいたします。

10時のオープンとともに来場者が奥出雲町ブースに座られ、そのお話に耳を傾けます。年輩の方ほどこれまでの人生の一部を聴かせていただくこととなります。知りたいことを確認して答えるとさらに話されます。流れで自分が大阪からUターンした今の暮らしの感想も伝えます。そのうち納得した表情で、「わかりました。ありがとうございます。」



「できた!」お箸を持ってポーズ!  
地域おこし協力隊の皆さんと

と明るい笑顔で立ち上がられる時、こちらのほうが元気をいただいている気がします。21日には、実際に島根県へUターンされた方々の交流会が奥出雲町であり、木材の黒檀を削ってお箸作りをしました。お昼は出雲蕎麦をいただき、自然と会話に花が咲きました。

都市の方へは、初めは自然豊かな奥出雲の魅力が暮らしの彩りとして添えることができたら嬉しいなと思います。そのうち、こちらに来てもらい、五感いっぱい奥出雲を感じてもらえるようなご案内ができるようになりたいと願っています。そのために、まずは自分が奥出雲の暮らしに浸かって身に染み込んでくれるように少し欲張って体験したいです。



坪倉麻子  
(定住コーディネーター)

今回は、奥出雲の「横高 進路指導室のサンフラワー」  
長谷川由樹隊員です。